

令和6年度
おかやま学びたい賞
市内受賞校



「おかやま学びたい賞」とは、県内の小中学生が住んでいる地域の魅力、抱える課題の解決、地域活性化の提案など、自ら課題を発見し、グループで協力しながら課題解決に取り組んだ学習の成果を募集する場です。今年度は、小学校55点、中学校42点の97点の応募があり、井原市はすべての小学校・中学校が応募し、優れた取組として5校が受賞しました。



優秀賞

井原市立県主小学校
5・6年生

チーム名 KATU

そうだ！県主へ行こう！
Episode 4「あがた未来プロジェクト」

年々減少する市人口や本校児童数に課題意識をもち、20年後も「戻って来たい」「住みたい」と思える県主にしたいと考え、「県主オリジナルで未来につながるもの(伝統)をつくり、広げたい」という願いのもと『あがた未来プロジェクト』に取り組み、地域の方と一緒にあがた広場やそこにつながる大通りを輝かせる企画にチャレンジした活動をまとめています。

奨励賞

- 井原市立井原小学校 6年生 チーム名 いばらあず 若い人が住みやすい町にしよう
- 井原市立木之子中学校 1年生 チーム名 木之子中学校1年生 ふるさと井原について
- 井原市立芳井中学校 1年生 チーム名 Go! 芳井 #Na tu:re 芳井の魅力(人・自然・歴史)を探そう・発信しよう
- 井原市立美星中学校 3年生 チーム名 美星プロジェクト 美星プロジェクト~実現へ~

各校及び各学校区の実践事例は、報告シートにまとめて研修会や会議で共有したり、フェスタ等で発表したりするなどして、取組拡充に積極的に活用しています
《各校の活動の様子は、Web『ひとづくりのまち井原』でご覧いただけます》



井原市カリキュラム・マネジメント研修会にて
自校の実践を紹介し合う先生方



井原市ひとづくりネットワーク運営協議会にて
来年度の計画を発表する地域コーディネーター

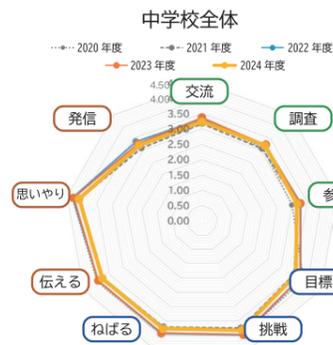
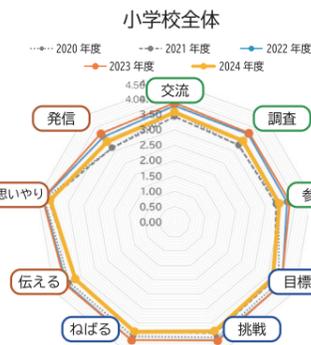


井原市まち&ひとづくりフェスタにて参加者に
自分たちの活動を堂々と発表する中学生たち

データから
読み解く、
井原の
子どもたち

2019年から、井原市内の学校に通う小学生・中学生・高校生を対象にアンケートを実施しています。井原“志”民力がどのように変化しているのか、ご紹介します。

井原“志”民力の行動指標に対する自己評価結果
5段階評価を平均値で算出し、5年間の変化を可視化

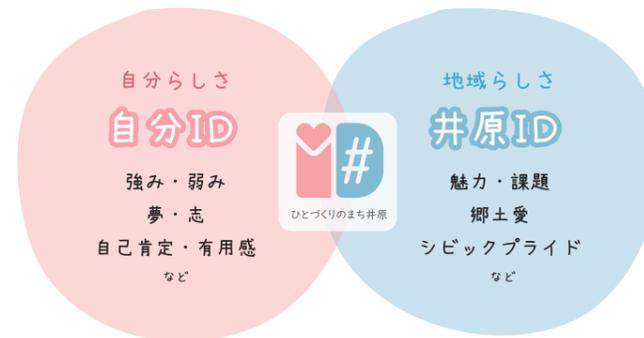


井原“志”民力について
小学校・中学校の全体的な結果としては、2023年から2024年は自己評価が低くなる傾向が見られました。自己評価の低下は、子どもたちが自己理解を深め、より客観的な視点を持つようになった可能性も考えられます。各学校や学年での傾向と地域での活動を照らし合わせ、ふりかえり、次年度の活動を検討するヒントとして活用していただくため、各学校へ詳細レポートを配布しています。



めざせ!! 井原“志”民

自分とふるさと井原を愛 (I) し、よりよい未来のために実行 (Do) する
自分と井原への確かな『IDentity』をもった人財



ひとづくりのまち井原

岡山県西南部に位置する人口約3.7万人の井原市。温和な気候と豊かな自然に恵まれ、『井原デニム』や『美しい星』、美味しい『ぶどう』や『明治ごんぼう』など、世界に誇れる「もの」や「しごと」があり、それを支える人情味あふれ、優しく、熱い「ひと」がいます。

このまちで育ち、暮らす子どもも大人も、予測困難な時代の中で自ら課題を見つけ、考え、行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。共に学び、語り合いながら、よりよい未来を共に創りたい。

そのため井原市では、「地域とともにある学校づくり」と「学校(子ども)を核とした地域づくり」の実現に向け、産学官民が一体となった地域社会総ぐるみの『ひとづくり』を推進しています。

これからの時代に求められる「生きる力」

2019(令和元)年度にスタートした「ふるさと井原の未来を創るひとづくり事業」では、自分とふるさと井原を愛し、よりよい未来のために実行する人財【井原“志”民】の育成と、“志”でつながる【志縁コミュニティ】の形成を目指しています。

井原“志”民とは、「自分らしさ」と「地域らしさ」を大切に、よりよい未来に向けた《夢&志(愛)=I》を持ち、その実現を自分事とらえて《実行(Do)=D》できる、自分とふるさと井原への確かなIDを持ったひと。そんな井原“志”民に必要な力や行動を市民と検討し、井原“志”民力という3つの資質・能力に整理しました。

井原市では、この井原“志”民力をこれからの時代に求められる「生きる力」ととらえ、ふるさと教育や起業家教育の視点を取り入れた学習活動や地域活動に参画する機会や若者たちの主体的なチャレンジを応援する仕掛けを意図的・継続的に創出することで、「生きる力」の涵養を図っています。

これまでの6年間の活動を通して見えてきた若者たちと、それを支える大人たちの姿や想いを紹介します。



WEB ひとづくりのまち井原
https://hitozukuri-no-machi-ibara.jp/



発行 井原市ひとづくり実行委員会
〒715-0014 岡山県井原市七市町12-1 アクティブライフ井原内
事務局:井原市教育委員会 生涯学習課



活躍しています!!

井原の若き 井原志民たち!!

さまざまな年代の若者たちが、地域をフィールドに自分たちや社会のよりよい未来のために活躍する姿がどんどん増え、まちを元気にしています!

今年度から井原市在住の中学生・高校生・大学生・若手社会人(20代)のやりたい・チャレンジを応援する助成を開始し、4名が採用されました。チャレンジする若者の活動を紹介します。



井原志民 たちへ 一問一答!!

高校生 イノベーションハーバー
得意を活かせる学生の居場所づくり

井原市立高等学校3年生
仁城 ひなたさん

- 自身の不登校経験を活かしつつ、当事者目線で、学生の居場所づくりや活躍できる場づくりをすること。新しい繋がりを作り、広げていくこと。
- 居場所カフェは、ご飯を作ったり将来について話したりして、学年や学校を超えた交流の場になった。クリスマスマーケットも開催できた。
- 居場所にいる人たちの声から、こどもに関わる”リアル”に触れ、私たちだけではなく、社会全体で取り組んでいくべき課題も発見できた。こどもたちと地域を繋げ、WIN-WINになれる関係作りをサポートしていきたい。

居場所カフェのたこやきパーティーの様子
食材にゴミを入れた人がいて大混乱!

こども店長たち
値段設定や会場作りまで全部自力です

高校生 デニム学 美星天文台×ウェザーニュースLive
(株式会社ウェザーニュース) プロジェクト

岡山県立井原高等学校1年
井上 貴仁さん

- 美しい星空を様々な人に知ってもらうためにウェザーニュースLiveと組み合わせた配信を行い、美星町の知名度向上を目指すこと。
- 美星天文台や天文王国おかやま事務局に提案・協力を依頼し、体制を整え、県内にリリース。そして、ウェザーニュース社に企画の提案を行った。
- ウェザーニュース社に提案を行ったところ、予算等の関係で実行が難しかった。今後はウェザーニュースLiveだけでなく、テレビ等で美星町の星空を発信し、ウェザーニュース社にも興味を持ってもらえるように活動したい。

岡山県高校生「夢育」PBL フォーラム
集合写真

岡山県高校生「夢育」PBL フォーラムで
発表している様子

大学生 渋沢栄一ゆかりの地を巡り、
井原市の魅力を知ろう!

山陽学園大学・山陽学園短期大学1年
三宅 茉莉さん

- 井原市を盛り上げるため最近話題の「渋沢栄一」を活用することでたくさんの方々に興味関心を持ってもらい井原市の魅力を知ってもらうこと。
- 観光プランに20人の方々に参加していただき、昨年度も観光プランを行ったため観光プランに参加したことがない人に声をかけ参加者を集めた。
- 地域の方には井原市と渋沢栄一の関わりを徐々にアピールすることができているため、地域の方々に留まらず市外の方への魅力をアピールしていきたい。

渋沢栄一が興譲館に揮毫した「興譲館」の
扁額の前で集合写真を撮影

芳井歴史民俗資料館で
渋沢栄一の展示会に参加

大人 めざせ「BMXのまち・井原」!
キックバイクで、君もライダー体験会

株式会社ファストリヴィール
BMXレーサー
早川 優衣さん

- 子どもを対象としたBMX・キックバイクの体験会を開催し、自転車競技に対する興味関心を高める。BMXのまちとして地域活性化の一助となること。
- 参加者を募集したところ定員の2倍以上の申込みをいただいた。コーンを使った仮設コースであったが、幼児も小学生も楽しそうに体験していたし、本体験後に実際の練習場に試走しにきてくれた家族もいた。
- 今回は定員の関係で体験できない子どもが多く出てしまったので、たくさんの子どもたちに体験してもらえるような工夫をしたい。

3歳の女の子も両足をうかして
バランスが取れるように!

大舌市長も来てくださり、
白熱したレースを繰り広げてくださいました!

井原にはステキなお仕事がいっぱい!

井原おしごと探検ツアー 井原おしごと体験フェスを開催!!

井原商工会議所企業ブランディング委員会とのコラボで、井原のおしごとの魅力を体感する2つのイベントを初開催しました。



井原おしごと探検ツアー

地場産業等へ興味関心を高めることをねらいとし、井原市の企業・事業所をバスツアーで巡り、「魅力」「秘密」「自慢」「すごいところ」を見つけるツアーを開催しました。

14組(児童19名・保護者14名)が参加。市内3事業所を巡り、工場見学やクイズなどを通して井原のおしごとの魅力を発見しました。

井原おしごと体験フェス

芳井生涯学習センターにて、市内29の企業・団体が39ブースを開設し、様々なおしごと体験ワークショップを楽しみながら、井原のおしごとの魅力を発見しました。

小学生の家族連れの方を中心に200組600名以上が来場しました。井原市と井原商工会議所で構成される委員会にて企画・運営を行いました。

井原市には、井原デニム等の繊維産業や自動車部品等の機械産業など、世界に誇れる仕事がたくさんあることを知ってほしいです。令和7年度は5/31(土)にフェスを行いますので、是非とも遊びにきてください。

井原商工会議所企業ブランディング委員会 委員長
清水 明人さん



▲ツアーの様子

▲フェスの様子

高校生を中心とした若者の居場所が開設!

ユースセンターいばら を開設!!

井原市地域おこし協力隊の2人が、高校生の居場所となる「ユースセンターいばら」を井原町にプレオープンしました。令和7年4月から対象を拡大し、若者たちの憩いと交流の場として運用していきます。



開設の目的

地域おこし協力隊(井原市ひとづくりコーディネーター)事務所を開放する形で高校生を中心とした若者たちのサードプレイス(第3の居場所)として開設し、若者たちの憩い・交流の場として活用しています。

※令和7年4月からの内容

利用案内

《場所》 出原ビル(1階)井原市井原町197-1

《管理・運営》 地域おこし協力隊 岡田・高平 [井原市ひとづくりコーディネーター]

《利用条件》
○対象 中学生・高校生・大学生
若手社会人(20代)
○日時 月・火・木・金
12:30~21:00
※利用がない場合は19:00閉館
○料金 無料 ※貸切利用は有料

《企画》 ゆめこ☆ラボ@井原 (井原市ひとづくり実行委員会内)

令和6年10月に高校生を対象にプレオープンしたところ、多くの高校生に登録・利用してもらえました。令和7年4月からは対象を拡大しますので、多様な年代の若者たちと交流を深めたいと思っています。みんなで一緒に、ますますステキなサードプレイスにしていきたいと思います!ご利用、お待ちしております!!

地域おこし協力隊(井原市ひとづくりコーディネーター)
高平 勇生さん



詳細はこちら



※掲載されている内容はすべて令和6年度当初の情報であり、現在とは異なる場合もあります。あらかじめご了承ください。